

〔神輿担ぎに参加して〕

3月12日、メルボルンシティで毎年恒例のムーンパレードがあり、JCVは御神輿を担ぎました。去年は残念ながら東日本大震災の直後で、パレードには参加しなかったのがJCVが参加するのは2年ぶりということになります。我が家は家族全員で早朝に起床、車で集合場所であるメルボルングラマースクールに向かいました。私は友人を何人か『一緒に担ごう』と誘っていたので全員無事に着くかどうかちょっと心配でした。でも全員集合時間8時に間に合うように集まって来て、ほっとしました。



担ぎ手は全員、JCVのハッピーを着てはちまきをします。お祭り団長の永嶋さんに巻き方を教えてもらいました。はちまきをくるくるとキツメにねじって頭に巻くと、後頭部の結んだ端がピンと立ちます。これがまた毎年の約束事のように、うまく出来ない人が多数いますが、永嶋さんは、一人一人回ってみてくれます。はちまきはパレード中には直す事ができないので、頭が痛くなるくらいきつく巻き、ハッピーもしっかりとひもを結んで、神輿担ぎに挑みます。今年は、セントキルダロードがパレードのコースとなっていて、例年と違い逆方向に進むことになっていました。それが、ちょっと新鮮な感じがしました。

御神輿の担ぎ手（女性と男性の人数がほぼ同じ）は、16人ずつの2グループが作れたので、途中交代できました。近年、交代なしの担ぎっぱなしで大変だった私は、心の中でちょっと安心したのです。最初の練習ではあまり声が出てなかった男性群。しかし、いざ始まった時には、一致団結して明るく大きな声で「わっしょい」と叫んでいました。肩にタオルを置いて保護していても、私は背が高いので肩の負担がひどく、正直言ってつらかったです。でも、声が枯れるくらい大声を出しながら周りを見ると、お客さんの中には、かけ声にあわせて手を叩いたり、『わっしょい』と言って下さる方もいて、パレードを楽しんで下さっているのがすごく伝わってきました。頑張った甲斐があったなあと最後は思えました。

パレードの終点に設置されているテントのエリアでは、テレビ局の人が数名レポートをしていて、私はパレードの騒音の中アナウンサーのお姉さんが、去年のムーンパに出場しなかったJCVの事情を説明するのを聞いて、なんだか一瞬涙が出そうになりました。一年経ってやっとメルボルンの人たちに「日本は復活する」というメッセージが送られたような気がしました。

エマ・プレストン 記

〔神輿の担ぎ手集めにに関して〕

ムーンパパレードの神輿の担ぎ手には、35-40人程の人を集めますが、毎年、これがなかなか大変な作業です。

いつもは年が明けてから本格的に担ぎ手探しをしていましたが、今年は少しでも早くから集めようと、12月の伝言ネットと日豪プレス、1月からは4回3ZZZと、多方面で広く宣伝をして頂きました。しかし、応募が全然来ません。結局、これらの効果で集まったのはたった4名のみ、後は個人的な声掛けの効果で、最終的にはお囃子5名を含め41名の参加者を集める事が出来、ホッとしました。

パレードの日はレイバーデイのため、大学は休みではなく、又、大学の始まるのが2月末と言う事もあり、一番出て欲しい歳頃の大学生は、ギリギリになるまで出られるかどうか分からないのが残念です。出られると分かるのが遅過ぎます。

数年前からは、トラジャルから多数の人が参加してくれ、大変助かっています。

今年は、主人(伊藤修)のお陰でJapaneasyにも声を掛ける事が出来、1名が参加して下さいました。このような若者のグループともう少し近づいて行けたらと思います。

又、夏祭りの折り、知人に声掛けしたところ、その連れ若い女性2人が参加して下さいましたが、この人が道を歩いている時、日本人と言うだけで全然知らない女性にも声をかけて下さいました。そしてこの人は、始発に乗り遅れたので30分位遅れると連絡があったのに、来たのは10時半頃。トラムで迷子になったと話していましたが、息を切らせて駆けつけてくれました。



これからもパレードに参加するとして、課題は人集め。数年前から提案していますが、JCVで『神輿担ぎ隊』の同好会を作り、その人達が中心となってお神輿を担いでくれたらと希望しています。今から準備をして人集めをすれば、最低の担ぎ手16名は集まるのではないのでしょうか？

どなたか、有志はいませんか？ 伊藤玲子 事務局長



ムーンパの神輿担ぎの様子は永嶋実氏がYoutubeに投稿されたので、インターネットで、見られます。Youtubeの検索は「Moomba 2012 JCV」ですので、ご覧になって下さい。

写真撮影 Tony Preston